

# 総務省てげいっちゃん。 一緒に働かんね？

宮崎行政評価事務所  
評価監視調査官

小林 宏一郎

## 国民目線で。

東京から宮崎に赴任して早2年。本省で採用されてからの2年間は、霞が関の行政機関を相手に、「電子政府の推進」や「行政評価局調査」等に携わり、多忙ながらも充実した日々を過ごしました。その後、宮崎に赴任し、これまで国民の申立てに直接応える「年金記録確認業務」に従事しています。

『なんだか総務省の仕事は色々あるな〜』そう思われる方も多いと思います。しかし、これらの業務は「より良い行政をつくる仕事」という点で共通しています。では、誰から見て「より良い行政」でしょうか。それは、もちろん国民です。私は、日々の業務の中で常に国民目線で業務に当たるよう努めています。

## こんな仕事をしています。

現在従事している年金記録確認業務は、テレビ等で話題になった「国の記録と自分の記憶が相違している。」という申立てについて、調査を行い、委員会に付議し結論を得るといもので、特に国民目線が必要な仕事です。

申立人の中には、少なからず行政への不満を抱えている方が多いので、最初に連絡する際の対応に一番気を遣っています。また、調査の中で申立人や関係者からお話を聞く機会も多いのですが、突然の連絡で警戒される事もあります（オレオレ詐欺だと思われることも!?!）。スムーズに供述を得るために、調査の目的を分かりやすく説明する、ゆっくりと話す、調査票の字を大きくするなど気をつけています。

申立人とやり取りを重ね、信頼関係をつくることで、申立てが認められなくても「ここまで調査してもらったら納得した。ありがとう。」とお礼の言葉を貰うこともあります。本省では、自分が携わった仕事が新聞で報道された際などに、その規模を実感し、達成感を感じましたが、宮崎弁のお礼の言葉はそれに匹敵するものです。

## 勤務地は違っても。

行政評価局調査ではテーマ毎に関係法令や現状についての勉強が必要だったり、年金記録確認業務でも年金に関する知識を習得するために日々勉強が必要です。しかし、安心してください。上司や同僚に相談や議論がしやすい風通しの良い職場です。

また、私と同じく本省で採用された同期も、現在、福島、大分等全国各地で勤務していますが、逆に、地方支分部局で採用された同期が本省で勤務しています。この意味でも風通しが良い職場です。勤務地は違ってもそれぞれのフィールドでより良い行政をつくるために働いています。

総務省の仕事に興味を持った方、一緒により良い行政をつくりましょう！

## PROFILE

平成20年4月 総務省採用  
行政管理局  
行政情報システム企画課

平成21年4月 総務省行政評価局  
総務課地方業務室

平成22年4月 現職

## とある一週間

- 月曜日** 調査が終わった事案を委員会に付議。調査した内容を分かりやすく説明できるよう気付けます。
- 火曜日** 上司から新たな事案を配布される。申立内容の整理と調査すべき事項をまとめる。
- 水曜日** 申立人へ連絡。今後の流れを説明し、申立内容の詳細を確認。
- 木曜日** 当時の事務取扱が分からない。先例で同じような事案が無いか調べるとともに関係機関に照会。
- 金曜日** 調査の方向性について、上司に相談。さらに調査すべき事情について助言を受ける。追加調査が必要だ。
- 土・日曜日** 好きな野球チームが宮崎でキャンプをしている。これは観に行かない!



唯一の移動手段、クロスバイク。お気に入りです。